

第3章  
Reading Practice  
リーディング練習  
正答と解説

正答一覧

Part IV			Part V	
51. (C)	61. (B)	71. (C)	81. (B)	91. (C)
52. (B)	62. (D)	72. (D)	82. (D)	92. (B)
53. (D)	63. (B)	73. (D)	83. (A)	93. (D)
54. (A)	64. (A)	74. (C)	84. (C)	94. (C)
55. (B)	65. (D)	75. (A)	85. (B)	95. (A)
56. (A)	66. (C)	76. (B)	86. (C)	96. (C)
57. (C)	67. (A)	77. (A)	87. (B)	97. (A)
58. (D)	68. (B)	78. (D)	88. (A)	98. (B)
59. (B)	69. (A)	79. (B)	89. (D)	99. (D)
60. (C)	70. (C)	80. (A)	90. (D)	100. (A)

## READING

## リーディング

This is the reading section of the test. There are two parts to this section.

## Part IV

## パート 4

**Directions: Questions 51-80** are incomplete sentences. There are four words or phrases, marked (A), (B), (C), and (D), under each sentence. Choose the **one** word or phrase that best completes the sentence. Then mark your answer on your answer sheet.

Example

Please turn off your computer at the ----- of the day.

- (A) ends  
(B) ending  
(C) end  
(D) ended
- Sample Answer*  
(A) (B) ● (C) (D)

The sentence should read, "Please turn off your computer at the end of the day." Therefore, you should choose answer (C).

Now begin work on the questions.

指示 問題51-80は不完全な文です。(A) (B) (C) (D)と記された4つの語句が各文の下にあります。最も適切に文を完成させる語句をひとつ選んでください。そして、解答用紙に解答してください。

例

Please turn off your computer at the ----- of the day.

- (A) ends  
(B) ending  
(C) end  
(D) ended
- 解答例*  
(A) (B) ● (C) (D)

問題文はPlease turn off your computer at the end of the day. (作業時にはコンピューターの電源を切ってください)となるべきです。したがって、選択肢(C)を選ぶ必要はありません。

では、問題に取り掛かってください。

## 問題

## 正答・設問の訳・解答のポイント

51.

Last year, Mary and Helen ----- bicycles in Amsterdam.

- (A) rent  
(B) to rent  
(C) rented  
(D) renting

**正答** (C)

**設問の訳** 昨年、メアリーとヘレンはアムステルダムで自転車を借りた。

**ポイント** Mary and Helenが主語、bicyclesが目的語の文型であり、空所には動詞が入ると推測できる。これに該当するのは(A)のrentか(C)のrentedである。文頭にLast year (昨年)とあることから、過去のことについて述べた文であることがわかるので、rent (借りる)の過去形であるrentedを入れると正しい文になる。

52.

The red coat belongs to Jane, but the black one is -----.

- (A) me  
(B) mine  
(C) my  
(D) myself

**正答** (B)

**設問の訳** 赤いコートはジェーンのものだが、黒いのはわたしのだ。

**ポイント** the black oneのoneは、先に出ているcoatという語の繰り返しを避けるために用いられた代名詞。したがって、the black oneはthe black coatと読み換えることができる。「わたしのもの」を意味する(B)のmineが正答。

53.

All of our rugs are made of wool and are ----- to care for.

- (A) glad  
(B) usual  
(C) open  
(D) easy

正答 (D)

設問の訳 わたしたちのじゅうたんはすべて羊毛で出来ており、手入れがしやすい。

ポイント care for (…の世話をする) が直後にあることから、(D)のeasyを入れて、be easy to care for (…の手入れがしやすい) とするのが正しい。(A)のgladは人が、(B)のusualは形式主語itや代名詞が主語となるのが原則。(C)のopenでは意味をなさない。

54.

Mr. Kim wrote a ----- to the store manager to explain his problem.

- (A) letter  
(B) pencil  
(C) package  
(D) mail

正答 (A)

設問の訳 キムさんは店の責任者に手紙を書いて彼が抱えていた問題を説明した。

ポイント 空所には動詞writeの目的語が入る。write a letterで「手紙を書く」の意味となる。(B) (C) (D)は意味をなさない。

55.

Ricardo scored the ----- goal in the soccer game.

- (A) won  
(B) winning  
(C) wins  
(D) win

正答 (B)

設問の訳 リカードはサッカーの試合で決勝点を挙げた。

ポイント the ... goalの部分が目的語となる。したがって、空所にはgoalを修飾する「勝ち越しの」意味の形容詞winningが入る。(A) wonは動詞winの過去(分詞)形である。

56.

We ----- waiting outside the theater when the actors walked by.

- (A) were  
(B) left  
(C) did  
(D) went

正答 (A)

設問の訳 わたしたちが劇場の外で待っていると、俳優たちが通りすぎた。

ポイント 空所に動詞waitの現在分詞が載っているので進行形が用いられた文と考えられる。この場合、空所にはbe動詞が必要である。したがって、(A)のwereが正答となる。(B)のleftは動詞leaveの過去(分詞)形。このleft、(C)のdid、(D)のwentのいずれが入っても文意が通らない。

57.

It is a good idea to drive ----- on mountain roads.

- (A) slowness  
(B) slowing  
(C) slowly  
(D) slowed

正答 (C)

設問の訳 山道をゆっくり運転するのは良い考えだ。

ポイント itを形式主語とするit is ... to doの構文。to不定詞の直後の空所には副詞である(C)のslowly (ゆっくりと) が空所に入ると考えるのが正しい。目的語となる可能性のある名詞、(A)のslowness (遅いこと) では意味をなさない。

58.

If it rains, the picnic may have to be canceled  
----- postponed.

- (A) but  
(B) so  
(C) else  
(D) or

正答 (D)

**設問の訳** 雨が降ればピクニックは中止されるか延期されるだろう。

**ポイント** 文の意味から判断して、「ピクニックがcanceled(取りやめとされる)かpostponed(延期される)か」の意味となる語を空所に入れる必要がある。(D)のorを空所に入れ、X or Y(XかYのいずれか)の意味とすると文意が通じる。(A)は「しかし」の意味の接続詞、(B)のsoは「したがって」、(C)のelseは「別の」を意味する形容詞である。

59.

When Alice has free -----, she likes to cook.

- (A) room  
(B) time  
(C) hobby  
(D) hour

正答 (B)

**設問の訳** アリスは、自由にできる時間には、好んで料理をする。

**ポイント** 空所には、動詞hasの目的語となる名詞が必要である。free(自由な)という形容詞で修飾されて文意が通るのは、free timeで「自由な時間；自由になる時間」の意味となる(B)のtimeである。(A)のroom(部屋)や(C)のhobby(趣味)では文意が通らない。(D)のhourを用いたfree hourという言い回しはない。hourが複数形のfree hoursなら「自由時間」の意味となる。

60.

A husband and wife must respect each other in  
order to have a good -----.

- (A) marry  
(B) marrying  
(C) marriage  
(D) married

正答 (C)

**設問の訳** 夫婦は良好な結婚生活を送るために、互いに尊重し合わなければならない。

**ポイント** 直前がa goodとなっていることから、空所には名詞が入る。したがって、(C)のmarriage(結婚)が入るのが正しい。(A)のmarryは動詞、(B)のmarryingは「結婚しような」、(D)のmarriedは「結婚している」意味の形容詞である。

61.

I will ----- stay late to help you finish your work.

- (A) happy  
(B) happily  
(C) happiest  
(D) happiness

正答 (B)

**設問の訳** 君が仕事を終えるのを助けるためなら、喜んで遅くまで残るよ。

**ポイント** 未来時制の文であり、ここではwillは助動詞、stayが動詞である。動詞を修飾する副詞である(B)のhappilyが正答となる。(A)のhappyは「幸せな」の意味の形容詞、(C)のhappiestは形容詞happyの最上級、(D)のhappinessは「幸せ」の意味の名詞で、いずれも不適切。

62.

Alex was told to ----- his homework instead of  
watching television.

- (A) have  
(B) make  
(C) give  
(D) do

正答 (D)

**設問の訳** アレックスはテレビを見ないで宿題をするように言われた。

**ポイント** 空所に入る動詞は後続のhis homeworkと結び付いて意味をなすものでなければならない。また、このto不定詞の意味上の主語がAlexであることも考慮に入れなければならない。空所に入って「自分の宿題をする」の意味となる(D)のdoを選ぶのが正しい。(A)のhave(…を持つ)、(B)のmake(…を作る)、(C)のgive(…を与える)では意味をなさない。

63.

Williamson Furniture Company is well-known for its ----- sofas and armchairs.

- (A) comforted  
(B) comfortable  
(C) comfortably  
(D) comfortably

正答 (B)

**設問の訳** ウィリアムソン家具店は、快適なソファーとひじ掛けいすでよく知られている。

**ポイント** well-known for ... (…で有名な) は名詞を使える。空所の直後に sofas and armchairs とあるので、空所にはこれを修飾する形容詞が入る。したがって(B)の comfortable (快適な) が正答となる。(A)の comforted は動詞 comfort (…を安心させる) の過去形であるとともに過去分詞でもあるので、形容詞の働きをすることもあるが、ここでは意味の面から不適切である。(C)の comfortably は「慰めとなる」、(D)の comfortably は「気持ちよく」を意味する副詞。

64.

Please ----- your application on the bottom line before you send it in.

- (A) sign  
(B) signature  
(C) to sign  
(D) signing

正答 (A)

**設問の訳** 申込書はいちばん下の線の上に署名してから、提出してください。

**ポイント** Pleaseで始まり、主語が見当たらないことから、この文が命令文で、空所には動詞の原形が入ると判断できる。したがって、(A)の sign (…に署名する) を入れるのが正しい。(B)の signature は「署名」を意味する名詞、(C)の to sign は不定詞、(D)の signing は動詞 sign の現在分詞であるが、いずれも不適切。

65.

----- I left my apartment this morning, I had my keys in my pocket.

- (A) Why  
(B) Who  
(C) What  
(D) When

正答 (D)

**設問の訳** けさ自分のアパートを出たとき、わたしはかぎをポケットに入れた。

**ポイント** コンマを挟んで2つの節が配置されていることから、空所には接続詞が入る。4つの選択肢のうち、接続詞としての働きをするのは(D)の when だけである。(A)の why は理由を表す副詞、(B)の who と(C)の what はいずれも接続詞としての用法を持たない。

66.

Be sure to attach the wires ----- when you set up your stereo.

- (A) helpfully  
(B) nearly  
(C) correctly  
(D) rarely

正答 (C)

**設問の訳** ステレオを設置するとき、正しく配線をしてください。

**ポイント** 文全体の意味から、空所には(C)の correctly (正しく; 適切に) が入る。(A)の helpfully (有用に)、(B)の nearly (ほとんど; 近くに)、(D)の rarely (まれに) では、いずれも意味をなさない。

67.

The flight to Dallas leaves ----- ten minutes.

- (A) in  
(B) on  
(C) for  
(D) at

正答 (A)

**設問の訳** ダラス行きの便は10分後に出発します。

**ポイント** 空所には ten minutes という語句と結び付いて特定の時(一瞬)を表す副詞句を構成する前置詞が入るのが正しい。(A)の in は ten minutes と結び付いて「10分後に; 10分したら」の意味となるので、これが正答となる。(C)の for が空所に入ると、「10分の間」という幅のある時間を表すことになり、不適切なものになる。(B)の on は特定の(曜)日などを示すとき、(D)の at は時刻を示すときに用いられる。

68.

Mark thinks that painting is ----- than drawing.

- (A) hardness  
(B) harder  
(C) hard  
(D) hardest

正答 (B)

設問の訳 マークの考えでは、デッサンよりも彩色のほうが難しい。

ポイント 形容詞や副詞の比較級の後に置かれて比較の基準を示す働きをする接続詞thanがあることから、空所には比較級が入るのが正しい。したがって、形容詞hardの比較級である(B)のharderが正答となる。(A)のhardnessは「難しさ」の意味の名詞、(C)のhardは「難しい」の意味の形容詞(原級)、(D)のhardestはhardの最上級で「最も難しい」の意味。

69.

The hotel manager has a list of rooms that need -----.

- (A) cleaning  
(B) be cleaned  
(C) to clean  
(D) clean

正答 (A)

設問の訳 ホテルの支配人は清掃が必要な部屋の一覧表を持っている。

ポイント that以下は名詞roomsを修飾する形容詞節。ここではneedは動詞として用いられているので、目的語として名詞・代名詞あるいは動名詞・to不定詞を必要とする。これに該当するのは(A)のcleaning (掃除をすること)と(C)のto cleanだが、後者では「部屋が(動作主となって)掃除をする」の意味となり、文の意味が通らなくなる。

70.

The receptionist was stuck in traffic, so she was ----- for work.

- (A) unable  
(B) near  
(C) late  
(D) soon

正答 (C)

設問の訳 受付係は渋滞で身動きがとれず、仕事に遅刻した。

ポイント (A)にunable (…することができない)、(B)にnear (近くの)、(C)にlate (…に遅刻して)とあるが、直後のfor workと結び付けて意味をなすのは(C)のlateだけ。be late for …で「…に遅れる」の意味となる。(D)のsoonは「すぐに」の意味の副詞。

71.

Andy is on the tennis team because he ----- the game so well.

- (A) takes  
(B) seems  
(C) plays  
(D) looks

正答 (C)

設問の訳 アンディーはテニスがとても上手なので、テニスチームに所属している。

ポイント 空所には動詞が入るが、後続の目的語the gameと結び付けて意味をなすのは(C)のplay (…競技・遊戯をすること)だけ。

72.

Erica made a ----- of \$10,000 when she sold her house.

- (A) profitable  
(B) profiting  
(C) profited  
(D) profit

正答 (D)

設問の訳 エリカは自宅を売り、1万ドルの利益を得た。

ポイント 空所には動詞makeの目的語となる名詞が必要である。(A)のprofitable (利益になる)は形容詞、(B)のprofitingはprofit (利益を生む)の現在分詞、(C)のprofitedは過去(分詞)形であり、いずれも不適切。(D)のprofit (利益)が入るのが正しい。make a profitで「利益を生み出す」の意味となる。

73.

I could ----- hear the music because the audience was very loud.

- (A) highly  
(B) evenly  
(C) early  
(D) barely

正答 (D)

**設問の訳** わたしがほとんど音楽を聞くことができなかったのは、聴衆がとてもうさかったからだ。

**ポイント** 空所には動詞を修飾する副詞が入ると判断できる。選択肢の4つとも副詞としての働きを持つが、(A)のhighly(高く)、(B)のevenly(均等に)、(C)のearly(早く)、(D)のbarely(ほとんど…しない)のうち、文意が通るのは(D)のbarelyだけである。

74.

To get to the lobby, go ----- the doors at the end of this hallway.

- (A) above  
(B) under  
(C) through  
(D) down

正答 (C)

**設問の訳** ロビーに行くためには、廊下の突き当たりのドアを通ってください。

**ポイント** 動詞go以下は命令文になっている。(A)のaboveだと「いくつかの扉の上方を」、(B)のunderだと「いくつかの扉の真下を」、(D)のdownだと「いくつかの扉沿いに」の意味となり、いずれも不自然。(C)のthroughだと「いくつかの扉を通り抜けて」の意味となり、文意が通る。

75.

All prices in the store will be ----- during the sale in December.

- (A) reduced  
(B) reduce  
(C) reducing  
(D) reduction

正答 (A)

**設問の訳** 店内の商品の価格は、12月の特売期間中、すべて割り引きとなります。

**ポイント** 空所の直前がwill beとなっていること、文全体の意味から、この文が受動態となっていると判断できる。したがって、動詞reduce(減らす)の過去分詞である(A)のreducedが空所に入るのが正しい。(C)のreducingはreduceの現在分詞、(D)のreductionは「減少」を意味する名詞である。

76.

The new copy machine is ----- the old one, but it has more features.

- (A) sure  
(B) like  
(C) close  
(D) same

正答 (B)

**設問の訳** 新しいコピー機は古い機種と似ているが、より多くの特長を備えている。

**ポイント** 文全体の意味を考えると、空所には「近似している；類似している」の意味を持つ語句が入ると考えるのが正しい。(A)のsureにはこの意味がない。(C)のcloseと(D)のsameはこの意味を持つが、close(と)、same(は)を従えるのが原則。(B)のlikeには「内容・外観などが…に似て」の意味で用いられる前置詞としての用法があるので、これが空所に入る。

77.

Travelers should give ----- a few days to recover from jet lag.

- (A) themselves  
(B) their  
(C) they  
(D) theirs

正答 (A)

**設問の訳** 旅行者は何日かの休暇を取って時差ぼけを解消したほうがいい。

**ポイント** 動詞giveが用いられた「主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語」の文型であると判断できる。動詞の間接目的語となりうるのは再帰代名詞である(A)のthemselves(彼ら自身)だけ。(B)のtheirはtheyの所有格、(C)のtheyは主格、(D)のtheirsはtheyの独立所有格。

78.

Ms. Green was carrying some important papers in her ----- when she went to the train station.

- (A) meeting  
(B) office  
(C) card  
(D) briefcase

正答 (D)

**設問の訳** グリーンさんが、いくつかの重要な書類を手さげかばんに入れて持ち運んでいたのは、彼女が駅に向かっていたときだった。

**ポイント** 直前に in her という語句があることから、空所にはグリーンさんが携行していた書類の入っている場所を示す語が入ると判断できる。何かを入れることのできる物としては、(D)のbriefcase (手さげかばん) が該当する。(A)のmeeting (会議) や(B)のoffice (会社)、(C)のcard (カード) は、いずれも不適切。

79.

On winter camping trips, take a tent that will give you ----- against cold weather.

- (A) protect  
(B) protection  
(C) protected  
(D) protector

正答 (B)

**設問の訳** 冬のキャンプ旅行では、寒さから身を守ってくれるテントを選んでください。

**ポイント** thatに続く節は直前のa tentを修飾する形容詞節であり、a tentが主語となった[主語+動詞+間接目的語+直接目的語]の文型であると判断できる。したがって、空所には、動詞giveの直接目的語となる名詞が入る。選択肢の中でこれに該当するのは(B)のprotection (保護; 防御) だけである。(A)のprotectは「保護する」の意味の動詞、(C)のprotectedはprotectの過去(分詞)形であり、いずれも空所には入りえない。(D)のprotectorは「保護をするもの」の意味の名詞であるが、この節の主語がa tentであることを考えると、不自然な文となる。

80.

The party was so ----- that we had a difficult time finding our friends.

- (A) crowded  
(B) heavy  
(C) excited  
(D) strong

正答 (A)

**設問の訳** パーティーがとても混雑していたので、わたしたちはなかなか友人を見つけることができなかった。

**ポイント** so ... that ~ (ひじょうに一なのである) の構文が用いられた文。空所には主語the partyを描写する形容詞が入るので、文全体の意味から、(A)のcrowded (混雑した) が適切である。(B)のheavy (重い)、(C)のexcited (興奮した)、(D)のstrong (強い) のいずれかが空所に入っても、文意が通らない。